

1月24日(月)

神様が舟に乗っておられれば

聖書朗読 マタイ8:23~27

「どうして怖がるのか。」

マタイ8:26

神様はどこにおられるのか。人は人生の嵐に遭う度にこう問いかけます。どうして神様は働かれないのか。眠っておられるのか。私のことなど何とも思っておられないのか。

イエス様と弟子たちが湖を渡っていると大荒れになりました。経験豊かな漁師たちが震え上がるほどの大荒れです。彼らは週末の旅行者ではありませんでした。彼らは舟のことやこの水域を知り尽くしていました。そんな彼らが溺れると思ったのなら、本当に溺れそうだったのでしょう。

イエス様は眠っておられました。

時々いえ今日も、私たちはこんな風に感じるがあります。もう絶対だめだと思ふ事態に直面します。迫りくる悲劇を恐れて意気消沈します。人生の嵐は、私たちの生活の土台を揺さぶります。そして私たちは「主よ、助けてください。私たちは死んでしまいます。」と叫ぶのです。

私たちにとってもっとも恐ろしいのは、イエス様が眠っておられることです。

しかし、イエス様が弟子たちに言われたことは、イエス様があなたや私にもくださる答です。「どうして怖がるのか、信仰の薄い者たち。」

イエス様が泰然自若としておられたのは無関心だったからではなく、静かな自信を表していました。天地万物の創造者なるお方は、ご自分が造られた創造物を怖がりなさいません。

今日、そのような思いのうちに平安を得ましょう。イエス様があなたの舟に乗っていてくださる限り、恐れることなど何もありません。

讃美歌 270

祈り 親愛なる父なる神様、不信仰をおゆるしてください。見渡す限り荒れ狂う海のただ中にいる時、その荒波をも造られたお方が私たちの中におられることを覚えさせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェフ・ダン

テキサス州 スナイダー

今日のカ

2022年1月24日~1月30日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月25日(火)

みことばの種の根は浅い？深い？

聖書朗読 マタイ 13:1~9

自分の中に根がなく、しばらく続くだけです。後で、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

マルコ 4:17

私たちの人生にとっての神様のみこころを知ろうともがいている人が大勢います。私たちはイエス様のために生きたいのですが、ふりかかる多くの「この世の諸事」のせいで、それは難しいと思っています。もうひとつ会議に出なければならぬし、もっと運動もしなければならぬし、リストを呼び上げれば、子どもたちを野球の試合や音楽のレッスンに連れていかなければならぬし、あれもこれも…今日の聖書箇所を読むと、私たちは神様にとって有益であるために根を深く張らなければならぬと気がきます。

長い間、私の人生の根は浅いものでした。そのために、クリスチャンであることの喜びを経験することができませんでした。長年にわたる父なる神様の剪定によって信仰の根が深く張るにつれて、私は知恵において成長しました。日常生活の試練や苦難、失望、落胆、絶望などに耐えることができるようになりました。主なる神様が人を形作られる時、他の人々に仕えるわくわくするような機会を与えてくださいます。だれでも知っていることですが、他の人々に仕え助けている時に自分自身のことに集中するのは難しいです。

今日の私たちの挑戦は、立ち上がって、主に私たちを用いていただき、真にみことばを聞き、みことばを受け入れ、主のために実を結ぶことです。他の人々に仕えることで私たちはイエス様の愛を実践することができます。

讃美歌 II 157

祈り 親愛なる父なる神様、今日、私を誰かのもとに導いて、あなたの溢れるばかりの愛を分かち合うことができるようにしてください。深く根を張り、生きていくためにあなたにより頼むことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・ヤング

ワシントン州 モクシー

1月26日(水)

神様が守ってくださいます

聖書朗読 マタイ 14:13~21

明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。

マタイ 6:34

私たちは恋に落ち結婚しました。二人とも薄給の学生で、食べる物と言えば、たいていファストフードのハンバーグか肉なしスパゲッティでした。貧乏だったかですって？えー、貧乏でした。でも、その頃が人生で一番幸福だったと言ったら、びっくりされるでしょうか。いろいろなことがあって、やがて3人の子どもたちが生まれ、私たちは今でも愛し合い結婚しています。困難な時を通じてずっと私たちを見守ってくださいました神様のお蔭です。

マルコの福音書を読むと、イエス様とイエス様に従う者たちがどんな暮らしをしていたか、ある1日の出来事を垣間見させてくれます。いつもどおり、イエス様はご自分に従う者たちを養ってくださいています。イエス様が5つのパンと2匹の魚を分け与えられると、男だけで5千人の人が食べて満腹したという不思議な奇跡です。みなお腹いっぱいになるまで食べて、それから残ったパン切れを集めたら12のかごいっぱいになりました。

我が家の食糧庫にある缶詰の豆は増えそうもないですが、神様は私たちを守ってくださいます。私たちは神様におまかせして神様に守っていただいているのでしょうか。それとも、いちいち些細なことにくよくよしたり、すべて自分の思い通りにしようとしていたり、心配のあまり眠れなくなったりしていないのでしょうか。

あなたの心配事を神様のもとへ持って行きましょう。そうすれば、神様が何とかしてくださいます。弟子たちがどうやって5千人もの人たちに食べさせたら良いのかわからなかったように、あなたもどうしたらよいのかわからないかもしれません。でも、神様はご存じです。

讃美歌 361

祈り 親愛なる主よ、あなたが私たちを愛し守ってくださいますということが、はっきりわかるようにしてください。あなたは私たちの益となるようにしてくださいますから、私たちは心配してはいけないということがわかりますように。私たちの国や文化や、私たち自身の健康などに関する心配事をあなたにおまかせします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ネイサンC. ケラー

テキサス州 アマリロ

1月27日(木)

私には関係ない (関係ある?)

聖書朗読 マタイ 25:34~36

食事のふるまいをするときには、貧しい人たちを招きなさい。

ルカ 14:13

ここ数年、私は地元のホームレス伝道の聖書研究会に関わっています。時には空飛ぶ円盤から三次元世界まで、ごちゃごちゃの議論になる時もあるけれど、イエス様に対する愛やみんなの互いに対する愛の素晴らしい証しになる時もあります。彼らはお互いに助け合っています。ホームレスの友だちが、言葉で言えないほどのトラウマや苦痛を抱えながらも信仰をもって耐え忍んでいる姿に、私はいつも驚いています。彼らがいかに神様と共に歩もうと願い続けているかに感心します。

ルカの福音書4章18節でイエス様はこうおっしゃっています。「主の霊がわたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、主はわたしに油を注ぎ、わたしを遣わされた。」イエス様は貧しい人を愛されました。よくそうおっしゃったし、貧しい人に会われた時にされたことや彼らとの関係によって、愛を示されました。イエス様は金持ちや権力者には、よくきつい言葉や厳しい警告で話しかけられましたが、貧しい人にはとても優しく対応されました。イエス様は貧しい者を「幸いです」と言われました。

イエス様は、疲れて井戸の傍らに座っておられた時に冷たい水を飲ませてくれたサマリヤの女のことを語っておられます。持っていた生きる手立てのすべてを投げ入れた貧しいやもめを称賛されました。貧しいラザロがアブラハムの懷にいますとおっしゃいました。イエス様は確かに貧しい人を愛されました。私たちはイエス様に従う者としてイエス様がなさったことをしましょう。

讃美歌 II 26

祈り 父なる神様、困っている隣人に対する憐みと愛の心をお与えください。
イエス様のお名前によって。アーメン。

テリー・ピーコック
テキサス州 ラバック

1月28日(金)

誰かが身代わりになってくれた

聖書朗読 マタイ 27:15~18

キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。

ローマ 6:10

バラバはローマ帝国の反逆者として囚われていました。死刑を宣告され、暗い監房の中に座って、看守が来て彼を連れ出し十字架に釘付けされるのをただ待つ日々でした。ある日、看守が監房の戸を開けて、何と驚いたことには「出る。釈放だ。」と言いました。「釈放だって？ どういうことだ？」とバラバが答えると、看守は「誰かが身代わりになってくれたんだよ。」と言いました。バラバは自由になって暗い牢から陽光の中へと歩き出しました。

犯罪人バラバが自由の身となり、無実のイエス様が代わりに死なれたというのは実に不公平に思われます。でも、バラバだけではないと気付くと謙虚な気持ちにさせられます。ある意味バラバは私たちひとりひとりの代表です。バラバと同様、私たちも罪を犯し死刑の宣告を受けました。私たちにとっての福音は、イエス様が私たちの代わりに死んでくださったということです。

実際にイエス様が十字架に架かられた何世紀も前に、預言者イザヤがこのように記しています。

『まことに、彼は私たちの病を負い、
私たちの痛みを担った。…
彼は私たちの背きのために刺され、
私たちの咎のために砕かれたのだ。
彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、
その打ち傷ゆえに、私たちは癒やされた。』 イザヤ 53:4-5

讃美歌 136

祈り 父なる神様、私たちの身代わりになってくださった御子なるイエス様に感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・アイクマン
サウスカロライナ州 アイアモ

1月29日(土)

語りつげよう

聖書朗読 マタイ 28:5~15

青年はいった。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。

マルコ 16:6

その日、二つの話が流布されました。一つは、イエス様はよみがえられたという話です。もう一つは、イエス様は死んで、その遺体は盗まれてしまったというものです。この話はユダヤ人の間に広まりました。

女たちはイエス様のお体に油を塗るために墓に行きました。行ってみると、御使いが現れこう言いました。「ここにはおられません。よみがえられたのです。行って…伝えなさい。」彼女たちはとても恐ろしくはあったが大いに喜んで、この良い知らせを弟子たちに知らせようと急ぎました。立ち去ろうとすると、イエス様が彼女たちの前に現れ、ある使命をお与えになりました。「恐れることはありません。行って、わたしのことばを伝えなさい。」(マタイ28:10)

墓に配置されていたローマの番兵たちも御使いを見て震え上がり、死人のようになりました。その後、番兵たちが何人か祭司長たちのところに行き、ことの顛末をすべて報告しました。彼らは、弟子たちが夜やって来て、眠っている間にイエスを盗んで行ったという作り話を言いふらすようにと命じられました。

こんなことを言った人がいます。「どんなに良くできている話でも真実を隠すことはできない。真実はずねに露見するものだ。」私たちは本当の話を知っています。そしてイエス様が女たちに与えられたのと同じ使命を与えられています。語りつげましょう。

讃美歌 137

祈り ご在天の父なる神様、イエス様がなぜ死なれたのか、そしてよみがえられたという良い知らせの話は決して古くなったりはしません。生き続け、イエス様を信じ、イエス様にお従いする者すべてに新たないのちを与えてくれます。このすばらしい話をたずさえて世界中に出て行けますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ローズ

コロラド州 プエブロ

1月30日(日)

真理に立つ

聖書朗読 マタイ 28:16~20

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。

ローマ 12:1

1500年代初頭には、選ばれた聖職者しかラテン語で書かれた聖書を読むことができませんでした。その後、勇気ある信者たちが聖書を庶民が使っている言語に翻訳し始めました。彼らはローマ人への手紙12章1節を肝に銘じ、神様のみことばを一般の人々に彼ら自身の言葉で伝えるために、文字通り肉体を献げ投獄されたり殺されたりしました。

宗教改革家ウィリアム・ティンダル(1495-1536)は英国人が聖書を英語で持てるようになるために命を献げました。王室から最下層の小作人にいたるまで、ドイツで印刷され、賛同する裕福な商人によってこっそり英国に持ち込まれた聖書を受け取りました。このことによって、英国の霊的風土は完全に変えられました。歴史上初めて、人々は神様のみことばを読んだり研究したりできるようになりました。一方では、どのようにしてクリスチャン生活を送ることができるかを学びました。

そのような献身の話は今日も続いていて、勇敢な信者たちは、聖書をまだ読んだことがない人々の多くの言語に聖書を翻訳しています。

聖書は神様のみことばです。みことばは私たちを成長させ、間違った信仰に陥らないように守り助けてくれます。聖書は私たちを教え矯正し訓練してくれます。(IIテモテ3:16~17) あなたがまだ神様の真理を聞いたことがない人にもみことばを伝えようとする時、あなたもみことばを伝えるためにすべてを献げた勇敢な人々の仲間入りをするようになるのです。

讃美歌 501

祈り 父なる神様、私たちがあなたの真理を宣べ伝えるために立つべき所に上がらせ、正しいことのために戦うことができるように助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ウィリアム・マクドナ

アーカンソー州 モーメル